

【 目 次 】

1 地域の元気を支える取組の展開

- | | |
|-----------------------------|----|
| (1) 多世代交流ができるコミュニティの形成 | P1 |
| ア 「寺子屋プロジェクト」等の実施 | |
| イ 地域の集いの場の提供 | |
| ウ 入居者や地域の方々が作品展示できるギャラリーの設置 | |
| (2) 高齢者施設等での「共生食堂」の実施 | P2 |
| (3) 介護保険対象外サービスの柔軟な展開 | |
| ア 多様なニーズに応える介護保険対象外サービスの展開 | |
| イ その他 | |
| (4) 地域交流行事（園祭・盆踊り等）の開催 | |
| (5) 魅力ある浜坂温泉保養荘の運営 | |
| ア 地元住民をはじめ継続的にご利用いただける取組の展開 | |
| イ 各機関等への広報活動の実施 | |
| ウ セラピスト等による各種療法指導の実施 | |
| エ 温泉入浴指導員による効果的な入浴方法等の指導 | |

2 新たな挑戦

- | | |
|---|-------|
| (1) 総合リハビリテーションセンターにおける県域拠点としての役割の充実・強化 | P3 |
| ア 障害者スポーツ支援拠点の充実 | |
| (ア) 障害者スポーツマルチサポート事業の推進 | |
| (イ) 一般スポーツ団体との交流事業の推進 | |
| (ウ) 東京パラリンピック開催記念スポーツ交流大会の実施 | |
| イ 障害者スポーツの普及・啓発 | |
| (ア) 障害児スポーツ活動拠点づくりの推進 | |
| (イ) 障害者施設等へのスポーツ支援プログラムの実施 | |
| ウ 県が設置するひょうご障害者総合トレーニングセンター(仮称)開設に向けた取組 | |
| (ア) リハ中央病院との連携 | |
| (イ) 福祉のまちづくり研究所との連携 | |
| エ 中央病院の新展開 | P4～P5 |
| (ア) 「スポーツ医学診療センター（仮称）」開設に向けた取り組みの推進 | |
| (イ) 回復期リハビリテーション病棟退院患者への訪問リハビリテーションの試行 | |
| オ 新「福祉のまちづくり研究所」の構築 | |
| (ア) 新「福祉のまちづくり研究所」の構築に向けた取り組みの推進 | |
| (イ) 介護・福祉・医療連携の促進（介護ロボット開発支援の推進） | |
| (ウ) 「本当に役立つもの」の研究・開発の推進 | P6 |
| (2) 西播磨リハの機能強化 | |
| ア 西播磨病院の機能強化 | |
| (ア) 摂食・嚥下支援センター（仮称）の開設 | |
| (イ) 神経難病リハビリテーションセンターの実施 | |
| イ 研修交流センターの充実 | |
| 喀痰吸引等研修（医療的ケアコース）の実施 | |
| (3) 「くにうみヴィレッジ」の開設に向けた取組の展開 | P7 |
| ア 日中サービス支援型グループホーム等の開設に向けた準備 | |
| イ 専門人材を活用した、子育てから介護、生活・しごとに関する相談支援の展開 | |
| (4) 新「万寿の家」の移転整備及び開設 | P8 |
| ア 移転整備の推進 | |
| イ 介護ロボットの積極的導入等先導的取組の展開 | |

3 多様なサービスの充実と展開

(1) 「ラウンド・ケア・サービス（定期巡回・随時対応型訪問介護看護）」の充実展開	P 9
ア 「ラウンド・ケア・サービス」の充実	
イ 「ラウンド・ケア・サービス」の開設準備	
(2) 高齢・重度化に対応した利用者支援の充実	P 9～14
ア ノーリフティングケア・介護技術向上の推進	
ア ノーリフティングケアの推進・定着及び介護技術の向上	
イ 「持ち上げない介護推進プロジェクト」の実施	P 11
イ 口腔ケアの取組	
ア 障害者施設	
イ 高齢者施設	
ウ 看取りケアの取組	
エ 認知症ケアの充実	
オ 高齢障害者の高齢者施設（特養）での受入	P 13
カ 利用者の重度化に対応する「介護ロボット」等の導入・効果検証	
キ 障害者施設における利用者の高齢・重度化への対応	
ク 強度行動障害への対応強化	
ケ 事故予防の取組	P 14
ア アセスメントの充実による事故リスクの減少	
イ KYT（危険予知トレーニング）の推進	
コ 個別支援の実践及び研究等の推進	
ア 職員研究・実践等は発表大会	
イ 支援の魅力、夢を叶えるプロジェクト発表大会	
ウ 全事協職員実践報告・実務研究論文への応募	
エ 海外派遣研修への積極的な参加	P 15
(3) 「ひまわりラボ・プロジェクト」の充実	
ア ひまわりラボにおける骨盤モデルや筋電義手などの事業団開発商品の製造・販売	
イ 骨盤モデル普及推進チームによる販路の開拓	
(4) ニュークックチル方式による食事提供の実施	
ア ニュークックチル方式による食事提供	
イ 施設給食業務の改善と拡充	
(5) 障害児入所施設の再編・強化	P 15～P 16
ア 児童寮の成人施設転換にかかる取り組み	
イ 障害児拠点施設としての専門性の向上	
ウ 小規模グループケアの実施	
(6) 障害者の就労支援の促進	P 16～P 17
ア オーダー型在職障害者職業訓練の実施	
イ ひょうごジョブコーチ推進事業の受託	
ウ 障害者就業・生活支援センター事業の実施	
(7) 就労継続B型事業の利用者工賃の向上	P 17
(8) 介助犬及び聴導犬認定事業の実施	P 18
(9) 地域で自立した生活の充実	
(10) 高次脳機能障害者への支援体制強化	
(11) 地域リハビリテーション体制の推進	P 19
ア 兵庫県地域リハビリテーション支援センターの運営	
イ 「全国リハビリテーション・ケア大会兵庫2021」開催に向けた準備委員会及び大会事務局の設置	

4 堅実な運営の継続

(1) 「働き方改革」の推進	P 20
ア 職員が働きやすい勤務体系・時間等の見直し	
ア 「超過勤務縮減」の取組	
イ 夜勤時間の見直し検討・試行の実施	
ウ 勤務時間の多様化	
イ ハラスメント対策の強化	
ウ 雇用形態に関わらない公正な待遇の確保	P 21
エ 業務の効率化と職員の負担軽減（離職防止等）の実施	P 22
ア I T端末等を使用した業務の効率化及び職員の身体的・精神的負担の軽減	
イ W E B端末を使用した会議、研修の実施	
オ 企業主導型保育事業を活用した子育て世代への支援	

カ	職場復帰に向けた施設における支援体制の確立	
キ	管理監督職に占める女性職員の割合について35%以上を維持	
ク	障害のある方の雇用の促進	
(2)	介護・福祉専門人材の育成・強化の推進	
ア	介護福祉士の養成（高齢者施設・障害者施設）	
イ	介護支援専門員・主任介護支援専門員の計画的養成（高齢者施設）	
(3)	多様な介護人材確保対策等の推進	P 23～ P 25
ア	介護人材確保のために多様な確保対策等の検討・実施	
（ア）	外国人技能実習生を高齢者施設等で受入、育成	
（イ）	資格取得に係る学生実習生の積極的な受入	
（ウ）	学生実習生及び近隣の大学等の学生に対するアルバイトの募集	
（エ）	キャリアアップ支援等制度の充実	
（オ）	効果的な研修の実施	
（カ）	将来に向けた幅広い層への福祉人材確保の取組	
a	支援員の確保対策	
b	看護師の確保対策	
c	都市部からの移住促進による人材確保	
d	アクティブシニアの人材活用	
イ	幅広い世代へ福祉の魅力を発信	P 25
（ア）	地域の小中高等学校への「福祉学習」の実施	
（イ）	大学等との継続的な「福祉授業」、サテライトゼミ開催	
（ウ）	介護技術や認知症にかかる「出前講座」の開催	
（エ）	福祉の魅力発信と体験イベント等の開催	
ウ	効果的な広報の推進	
（ア）	パンフレットの効果的活用	
（イ）	ホームページのスマホ対応化の推進	
(4)	計画的な正規職員数（正規職員比率）の確保	P 26
(5)	老朽化が進む施設の大規模改修や建替の計画的な実施	
ア	今後の事業展開を踏まえた大規模修繕の実施	
イ	老朽化した施設の建替整備	
(6)	「中期経営方針」に基づいた効果的・効率的な法人運営の推進	P 27～ P 28
ア	ガバナンスの充実	
（ア）	事業本部制の導入	
（イ）	効果的、効率的な法人運営、経営・管理の推進	
a	事業目標・経営管理（課題解決と経営管理の取組）	
b	事業の見直し及び見直しの検討	
c	新たな加算の取得による収支改善	
（ウ）	財務規律及び収益管理の強化	P 30
（エ）	リスク管理の取組	
イ	施設建物や整備等の長寿命化の推進	P 31
ウ	県との協働による県施策の先導的役割の実践	P 32